

大分県公立高校の入試選抜方法

■ 推薦入学者選抜

1. 推薦入試の現状

推薦入試は、各中学より学校長の推薦を受けた生徒に対し、一般入試のような学科試験ではなく、面接・小論文や適性検査（実技）などが課される試験です。大分県立高校の推薦入試には、下記A・Bの2種類があります。

但し、安心院高校・由布高校の各普通科のような、連携型中高一貫教育の入学者選抜は含みません。

	実施校（学科）	定員に対する募集人員の割合	検査内容
推薦入試A	芸術緑丘（音楽科・美術科）	100%	調査書 推薦書 適性検査 面接 小論文
	別府翔青 （グローバルコミュニケーション科）	75%以内	
	大分舞鶴（理数科）	50%以内	
推薦入試B	普通科	20%以内	調査書 推薦書 面接 小論文
	上記以外の高校の専門学科	20%以内	
	上記以外の高校の総合学科	30%以内	

一つの中学校から同じ高校に推薦される生徒は、内申点・日頃の学校の生活態度・課外活動などを考慮して、担任の教師より推薦され、最終的に中学全体（校長・教頭及び教員によって組織する選考委員会）で決定されます。

3校4学科で行われる実技中心の推薦A（募集130人）は、令和6年度は136人の志望で、倍率は1.05倍。大分舞鶴高理数科が0.9倍、別府翔青高は0.97倍、芸術緑丘高は1.11倍でした。また、推薦B（面接・小論文など）は全日制で募集1194人に対し1042人となり、倍率は0.87倍でした。大分市内の主要公立高校の倍率は、上野丘高普通科が1.89倍、大分舞鶴高普通科1.33倍、大分西高総合学科1.15倍、大分豊府高普通科1.86倍、大分雄城台1.19倍などとなっています。

令和7年度 推薦入学者選抜に関する日程

出願期間	令和7年1月21日（火）～1月24日（金）
検査日	令和7年2月4日（火）・2月5日（水）
合格内定通知日	令和7年2月5日（水）・2月6日（木）
合格者発表日	令和7年3月14日（金）

2. 推薦入試の選考方法と内容

選考方法 面接・作文・適性検査などの結果と、中学校から提出される調査書や推薦書などの書類とを総合して選考されます。内申点が高くないと推薦入試での合格は難しくなります。

試験内容 適性検査・面接・小論文

面接

志願者全員に対して実施される。形式には、個人面接とグループ面接がある。時間は10～15分程度。
個人面接.....受験生1人に対し、数名の面接官で面接する方法。
グループ面接...受験生を何人か(3～6人程度)のグループに分け、全員に同じ質問をしたり、一つのテーマに絞り意見を述べさせたりする方法。

小論文

ほとんどの学科・コースで実施。各学校とも、字数は200字～800字。時間は30～60分。同じ学校でも、学科・コースによってテーマが異なる。作文では、思考力・独創性・人柄・意欲など、受験者の人物が見られ、また国語力も見られる。どんなテーマに対しても、自分の意見を持ち、それを表現する力が必要である。

適性検査

一部の学科やコースで実施。過去に実施された内容には以下のようなものがある。
外国語科:英語のリスニング
美術科:デッサン・水彩画
理科実技:植物を見て単子葉類と双子葉類に分ける

=推薦入試へチャレンジ=

通知表で9科目合計40点以上（5段階評定）を獲得している受験生は、推薦入試にチャレンジすることも考えてみましょう。たとえ推薦入試で不合格になっても、同じ学校の一般入試が受験でき、不利になるようなことはありません。

志望動機

その学校を選んだ理由。自分の言葉で伝えるのがポイント。

将来の希望

相手がイメージしやすいようにできるだけ具体的に。理由も添えて。

高校での抱負	勉強・クラブ活動・文化祭などの学校行事など具体的に。
部活動	部活動名・ポジションや役割など活動を通してどんなことを学んだかを述べよう。
その他	最近のニュースで最も印象に残ったこと。趣味。特技。長所と短所について。中学生活で最も印象に残ったことなど。

4. 小論文のテーマ...過去の問題例

分類	課題 (テーマ)	字数	時間
中学生生活体験	中学校生活で身につけた教養について書きなさい。(R5年度 大分上野丘高)	180~220字	60分
	中学校生活において、「殻を破った」経験について、そして将来のために高校でチャレンジしたいことを書きなさい。(R5年度 大分舞鶴高普通科)	400字	45分
高校生活	自分の内面、精神力を高めるために高校生活でどのようなことに取り組むかを書きなさい。(R4年度 大分上野丘高)	160~200字	60分
	文章を読み、前半では筆者の考えをまとめ、後半では文章を踏まえ、この学校でどのようなことを学び、身につけ、生かしていくか。自分の将来のこともまじえて書きなさい。(H30年度 大分豊府高)	600字	60分
	あなたは、どのような高校生活を送りたいか。学習、部活動、学校行事において具体的に書きなさい。(H28年度 大分工業高)	500~600字	50分
文化	「日本人は第三者に敬語を使う時、定型的な敬語しか使えず、奇妙な敬語になってしまう。ゆえに口下手文化になり奇妙な敬語を使ってしまうのは仕方ないことであろう」という文章について、あなたの体験を踏まえて具体的にどうしたいか書きなさい。	400字	50分
	(遺跡についての文章を読み、下線部「遺跡は過去と未来をつなぐ掛け橋である」を参考にして) 遺跡発掘調査に関する自分の考えを述べ、遺跡の保存や発掘調査を困難にしている問題点とその解決策について書きなさい。	600字	50分
科学技術	提示してある科学の文章を読んで、筆者の意見と自分が中学校で学んだことを踏まえて、高校でしたい実験とその予想を書け。(H28年度 大分舞鶴高理数科)	250字	30分
	「沈黙の春」を読んで、農薬「DDT」と「マラリア」について自分の考えを答えなさい。(H26年度 大分舞鶴高理数科) →問題の一部として出題。	250字	50分
	日本の降水量は多いが、水資源は少ない。それを改善するためにどのような技術を発展させればよいか。(H25年度 大分舞鶴高理数科) →問題の一部として出題。	250字	50分
社会問題	自分が今まで体験した「社会の出来事」について書きなさい。(R4年度 大分舞鶴高校普通科)	300~500字	45分
	現在の日本における「超高齢社会」の問題点とその改善点について書け。また、次の物語を読んで、物語の主人公の心の移り変わり、このようなあなたの経験についても述べよ。(H24年度 大分上野丘高)	450~600字	60分

■第一次入学者選抜 (一般入試)

一般入試の募集人員は、各学校の入学定員から推薦入試合格内定者数を減らした数で発表されます。推薦入試で合格が内定した生徒は、一次入試に出願できません。選抜方法は、学力検査の得点(300点満点/5科目×60点;各50分)と9科目の調査書、また一部の学校においては、適性試験や面接を総合的に見て合否を決定します。その際、調査書の合計点と学力検査成績の比率は、下表のように高校ごとに決まっており、面接の実施の有無も高校によって異なります。

令和6年度 第一次入学者選抜に係る学校ごとに定める事項（一部抜粋）

高等学校	調査書の合計点と 学力検査成績の比率	面接
	(調査書) : (学力検査)	
大分上野丘	3 : 7	
大分舞鶴	普通科	3 : 7
	理数科（くくり募集）	3 : 7
大分豊府・雄城台・大分西・大分南	3 : 7	
大分工業・大分商業	3 : 7	
情報科学	3 : 7	
大分東	3 : 7	○

調査書の内訳（平成30年度入試より下記の通り）

中1	英数国社理...5 (点/教科) × 5 (教科) = 25 (点)	合計260点 合計点を300点に換算、さらに、上表の学校毎の係数を掛けて判定する。
	保体・音・美・技家...10 (点/教科) × 4 (教科) = 40 (点)	
中2	英数国社理...5 (点/教科) × 5 (教科) = 25 (点)	
	保体・音・美・技家...10 (点/教科) × 4 (教科) = 40 (点)	
中3	英数国社理...10 (点/教科) × 5 (教科) = 50 (点)	
	保体・音・美・技家...20 (点/教科) × 4 (教科) = 80 (点)	

令和7年度 第一次入学者選抜に関する日程

出願期間	令和7年2月14日（金）～2月20日（木）
志願変更期間	令和7年2月25日（火）～2月28日（金）
検査日	令和7年3月11日（火）・3月12日（水）
合格者発表日	令和7年3月14日（金）

■問題の難易度

毎年、大分県教育委員会が公立高校の全受験者の得点を集計し、平均点を発表しています。過去3年の結果を下表にまとめました。令和5年度は令和4年度と比較して、理科が平均で4.8点、英語が7.8点下がり、難易度が上がっているように感じられました。令和6年度においては、数学が平均で1.2点、社会が平均で7.2点、理科が9.4点程度増加し、国語・英語を除いては取り組みやすい内容となっています。大学入試改革の影響で思考力・判断力・表現力を求める試験に変わっていくなか、今後も情報と情報を関連付け整理する力や、目的や相手に応じて自分の考えをまとめ表現する力を計る問題が出題される可能性が高いと考えられます。大分県の公立入試は年毎の平均点変動が大きいいため、過去の傾向を把握しながら、しっかりと入試対策に取り組む姿勢が必要となります。

大分県公立高校入試の平均点推移

	R4	R5	R6
国語	33.4 (55.7%)	33.3 (55.5%)	27.5 (45.8%)
数学	27.3 (45.5%)	29.6 (49.3%)	30.8 (51.3%)
社会	28.5 (47.5%)	25.1 (41.8%)	32.3 (53.8%)
理科	34.0 (56.7%)	29.2 (48.7%)	38.6 (64.3%)
英語	35.2 (58.7%)	27.4 (45.7%)	27.0 (45.0%)
合計	158.4 (52.8%)	144.5 (48.2%)	156.1 (52.0%)

■第二次入学者選抜

推薦入学者選抜、第一次入学者選抜の結果、定員に達しなかった高校が実施する、いわゆる「二次募集」です。全県1学区として出願でき、学力検査の実施科目・面接・小論文などの実施は各学校によってあらかじめ決められていますが、すべての高校で実施するわけではありません。あくまでも入試の中心は推薦入学者選抜及び、第一次入学者選抜です。

令和7年度 第二次入学者選抜に関する日程

実施校等発表日	令和7年3月14日（金）
出願期間	令和7年3月17日（月）～3月18日（火）
検査日	令和7年3月19日（水）
合格者発表日	令和7年3月21日（金）